



～三步歩けば忘れる鳥頭、インコが振り返るこの1年～

「インコのお山」から日本に来て、1年ちょっと。不法滞在でイミグレに摘発されることもなく、ワシントン条約違反で捕獲されることもなく、無事ここまで来られたのもみなさまのご支援のおかげと深く感謝。

○ 嬉しかったこと

なんといっても佐藤和利事務局長が不死鳥のように復活したこと！（そう、死なないのは鳥だけなんだからねっ）見舞いに行きたかったけど「他の入院患者がビックリするからダメ」……。

病院にも「インコ立入禁止条例」があるのかな。

12月、焼き肉レストランでの望年会、インコは焼き肉を食べられないから行かなかったけど、出席したマネージャー（インコはマネージャー付きの売れっ子）によると、佐藤事務局長がさっそうとした姿で参加されていたとのこと。

完全復帰も間近と聞いて、運動はさらに進展するぞと確信。

「制度廃止娘ゆうちゃん」というお友だちができたことも嬉しかった。東京の集会・デモにはたいてい一緒に参加しているよ。



○ 楽しかったこと

山手線に乗ったこと。インコのお山には電車なんてないから、とても楽しかった。また乗りたいなあ。各地の抗議行動に参加して、いろんな人と出会えたことも楽しい思い出。

○ 元気がでたこと



なんといっても制度実施にみんながちっともめげなかったこと。この国の人たちを結構見直したなあ。

ガッカリしたのは「市民参加」「市民参加」ってなにがなんでも良い制度のように報道したがるマスコミの姿勢だね。

○ 歌詞発見！

3月20日東京・代々木公園、インコは初めてナマで大勢の人が歌う「インターナショナル」を聞いて感動した。でも、11月1日東京・日比谷野外音楽堂での集会まで、

♪起て 寝てたる者よ 今ぞ日は近し 覚めよ 我が腹から 暁は来ぬ♪

と思ひこんでいたよ。インコは寝ぼすけの食いしん坊だったことをあらためて自覚。



○ 不思議な国のインコ

振り返ると、日本って不思議な国やなあ～。

2月に酔酩会見した人が、秋には冥界に行っちゃって、酒飲みインコとしては人ごとではなかったし。

8月末には大嵐がきて、大物から小泉チルドレンまで軒並み討ち死にしたのはご同慶の至り。でも、なんだか同じようなよくわからんチルドレンがたくさん出てきて…。

「自分の国以外の核兵器をなくそう」って演説してノーベル平和賞をもらった戦争大統領は「正しい戦争」を遂行するって。自分の戦争だけはいつだって正しいんでしょ。「正しくないけど戦争します」なんてないよね。「オバマ」「オバマ」って大騒ぎしていた人たち、どうするつもりなの？

普天間問題「カエサルのはカエサルへ。アメリカのものはアメリカへ返去る」でいいじゃん。

100日目にして政権運営はもうダッチロール（いや、インコがダッチロールなんて言っちゃいけないか）。「子ども手当」ももらいすぎれば立派な脱税。だれが首相でも民主党政権が安定するはずもないし、かといって人心が自民党に戻るはずもないし、世直し・打ち壊しの声が一気に高まるのかしら…

藤田正人事務局次長が「制度導入に賛成し、制度推進の先頭に立つ連合を最大基盤とする民主党政権に期待することなど何もない」と喝破したけど、これが「今年という言葉」かもね。インコ的には、

それにしても大運動は何かあってもぶれなかったなあ。

インコは、ぶれない大運動と来年（明日から）も頑張るぞ(^◇^)